



平成31年 春期合宿 伊豆稲取にて

前列右から9人が新入生たち

平成30年11月18日、今年度の第2回部員総会が行われ、第86代の学生幹部が伊藤監督から発表されました。選出された主将、副主将の「意気込み」を紹介します。また、新幹部が中心になり、静岡県東伊豆町稲取で、平成31年3月10日～15日の6日間、2019年度の新入生9人も参加して、「春期合宿」を行いましたので、併せて紹介いたします。



チーム一丸で

男子主将 (平塚キャンパス) 4年 土谷 隆太

神奈川県 横浜商大高校出身

昨年、私が大將戦で敗れてしまい、全日本に進むことができませんでした。主将として私自身には、まだまだ足りないことがたくさんあります。チームのみんなに協力して頂きながら、目標である全日本出場を目指し、神大の良いところでもある仲の良いチーム、ときには厳しく、ときには楽しく、部員全体で協力し、このチームの良いところをつぶさないようにしながら、前回大会の悔しさを忘れずに、主将としてこれからチームを引っ張っていきたくと思います。



声掛け積極的に

女子主将 (平塚キャンパス) 4年 安見 叶夢

愛媛県 済美高校出身

今回、女子主将を務めさせていただくことになりました。以前、先輩方は率先して声掛けを行っていました。声掛け一つでまとまったり、チームの雰囲気良くなったりするので、自分も周りへの声掛けを積極的にやっていきたいと思えます。女子は、全日本出場という目標に活動しています。その目標を全員が持って活動できるように、全力で引っ張っていきたくです。



自覚をもって行動

男子副主将 (横浜キャンパス) 4年 吉永 成志

長崎県 佐世保北高校出身

今年は、剣道部がより一層飛躍できるよう「自覚」をもって頑張ります。昨年はあと1歩の所で全日本出場を逃し、実力不足を痛感しました。この経験から学んだ事は、必ず今年中に生かし、全日本の舞台上で勝ち上がれるよう精進します。また、1～3年生とのコミュニケーションを大切に、部全体としての活性化に貢献していきたいと思えます。本当に剣道部の勢いが変わったと周りから言われるよう、人間性から模範となるつもりで努力します。



明るく全力で

女子副主将 (横浜キャンパス) 4年 野口 桃子

東京都 桜美林高校出身

私は副主将として主将や主務、また部員全員が一丸となって協力し合いながらより切磋琢磨し合える神奈川大学剣道部をつくりあげたいと考えています。悔しいこと、嬉しいことなどこれから沢山のことがあると思えますが、何事にも明るく全力で取り組んでいきたいです。また、4月から新1年生が新たに加わりますが、それが良い刺激となって剣道でも私生活でもそれぞれが成長できる1年にしていきたいと思えます。

“ふるさとの先輩コーナー”

ふるさとの先輩を紹介するコーナーです。今回は、福島県いわき市の佐藤和孝(さとうかずたか)先輩(平成7年経済学部卒)からお便りを届けていただきました。

私は現在、地元福島県いわき市で中学校教頭として日々多忙な毎日を送っています。大学卒業後は、中学校教員を希望し、剣道部の顧問を務めたいという思いがあり、数年講師を務めたあと、念願の教員になることができました。幸いにも剣道部の顧問にもなることができ、多くの遠征で関東地区、特に神奈川県内の定期練成会には数多く参加させて頂き、神奈川県の中学顧問の先生方から多くのことを学ばせて頂きました。平成20年に、母校であるいわき市泉中学校に赴任し、平成25年には、念願であった全国中学校剣道大会に男子団体で出場することができ「監督として、生徒とともに全中へ」という夢をかなえることができました。現在は、剣道から離れていますが、剣道のおかげで充実した日々を送ることができたのは間違いありません。そんな剣道に心から感謝しています。最後に8年前の東日本大震災の際には、多くの大学剣道部の先輩後輩から励ましの声や物資の提供があり、改めて大学剣道部のつながりの強さを感じました。この場をおかりして感謝申し上げます。

※神大剣道部から教員として剣道部顧問になる人が増えることを期待しています。



主将をサポートしたい

男子副主将 (平塚キャンパス) 4年 中田 峻介
神奈川県 湘南工科大附属高校出身

副主将として主将土谷だけに頼るだけのチームにならぬように少しでもサポートしていきたいと思っています。また部員数が増え始め、各個人の多様な意見もある中でチームが分離しないように私自身が中心となって多様な意見をまとめ部活運営を円滑に進めるようにしたいです。そして、関東学生大会では、毎年あと少しのところまで、全国大会出場を逃してきたのでチーム一丸となり、今年こそは全国大会出場に向け副主将として貢献していきます。



後列左端が佐藤和孝先輩